

2008年1月16日公表

各位

2007年度「道内新入社員半年間の意識の変化
ならびに道外新入社員との意識の比較」(要旨)
北海道生産性本部

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より当本部の諸活動につきまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、北海道生産性本部(会長 濱田 賢一)では、(財)社会経済生産性本部 経営革新部と共同で新入社員入社後半年間の意識変化の把握を目的に、「若者意識アンケート・秋編」を実施し、集計・分析のうえ、昨年12月20日、調査結果を公表しているところです。今回、当本部では更にこの調査データの中から道内分を抽出し、「道内新入社員半年間の意識の変化ならびに道外新入社員との意識の比較」を試みました。

つきましては、以下のとおり、本調査の要旨をお届け致しますので、次世代を担う若手従業員についての情報として、ご活用いただければ幸いに存じます。

敬具

記

1. 調査方法:

道内データについては、2007年10月に実施した当本部主催の新入社員フォローアップ研修時および調査依頼企業内における新入社員フォローアップ研修時等に「若者意識アンケート・秋編」を配布し、回収した553通について集計・分析した。(道内データ回収率84.9%、比較対象道外データ420通)
※各設問の未回答者分は削除してあります。

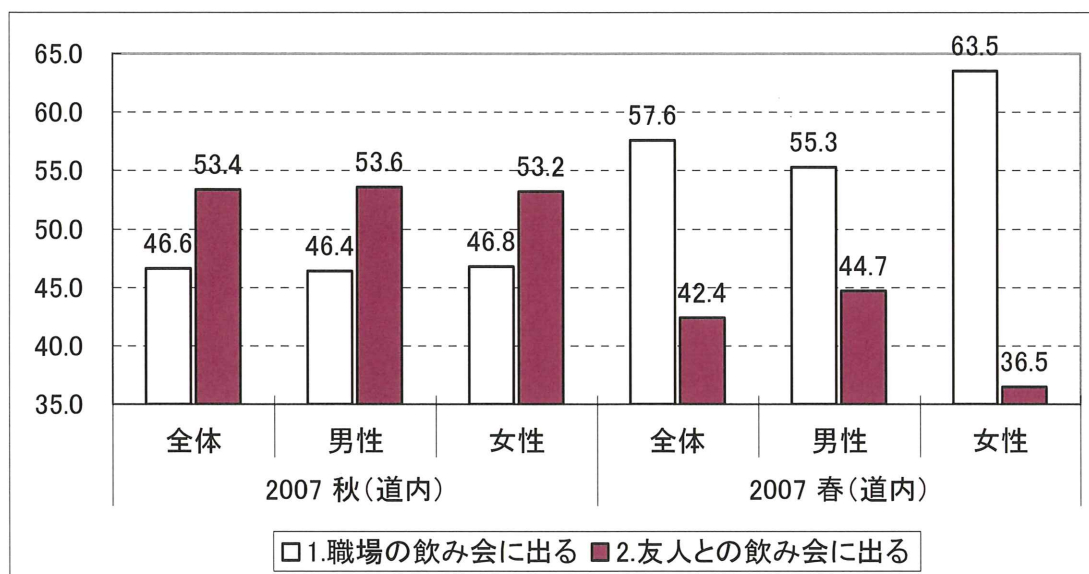
2. 添付書類:

- (1) 本調査要旨(本紙含め8ページ)
「道内の半年間の意識の変化」、「道外との意識の比較」、「道内の昨年度(秋)との意識の比較」について、特に違いの見られた調査結果を纏めております。
- (2) 集計表(5ページ): 全ての設問データを掲載しております。
- (3) 属性(1ページ): 調査対象者の属性(性別・年齢など)を掲載しております。

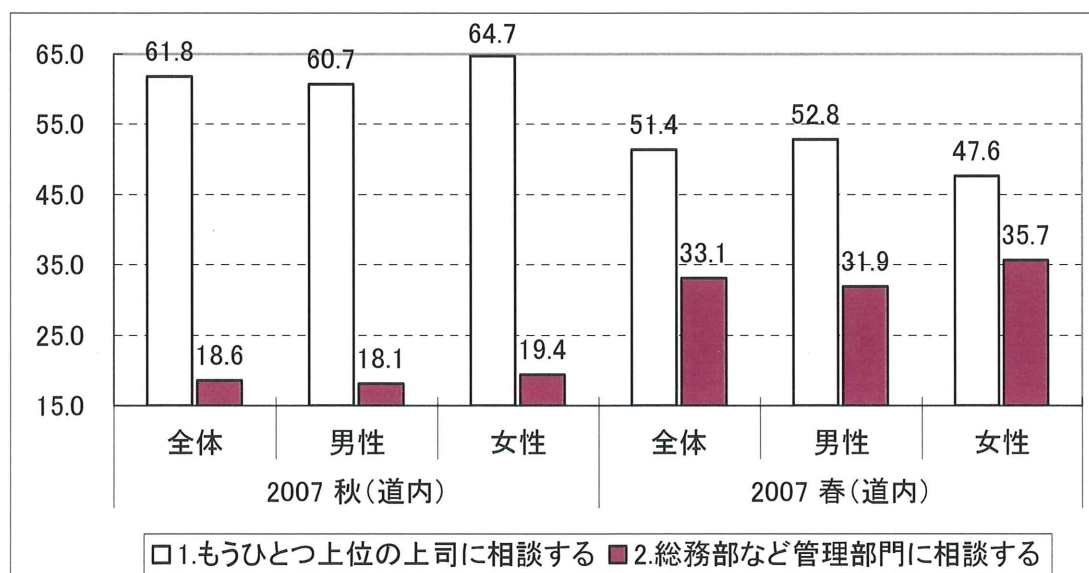
3. 調査結果要旨：

(1) 道内の半年間の意識の変化

- ①職場の飲み会があり、そこでは職場のウラ情報が聞けそうですが、既に学校時代の友人との先約がある場面での対応について、「職場の飲み会に出る」が秋 46.6%、春 57.6%、「友人との飲み会に出る」が秋 53.4%、春 42.4%となり、男女とも「友人との飲み会」を「職場の飲み会」より優先する傾向が強まり、春の調査と比べて関係が逆転した。〈Q4(c)〉

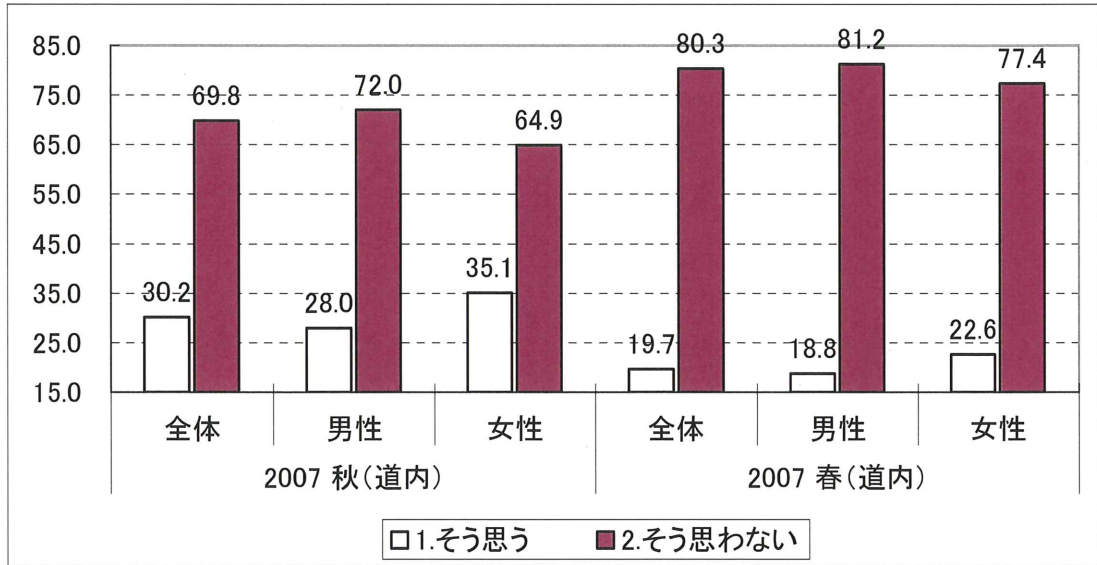


- ②職場における法令抵触の可能性を知った場合の是正のための相談相手として上司の対応が悪い時、「もうひとつ上の上司に相談する」が秋 61.8%、春 51.4%、「総務部などの管理部門に相談する」が秋 18.6%、春 33.1%となり、男女とも「管理部門」よりも「もうひとつ上の上司」へ相談する傾向が強まった。〈Q4(f)〉

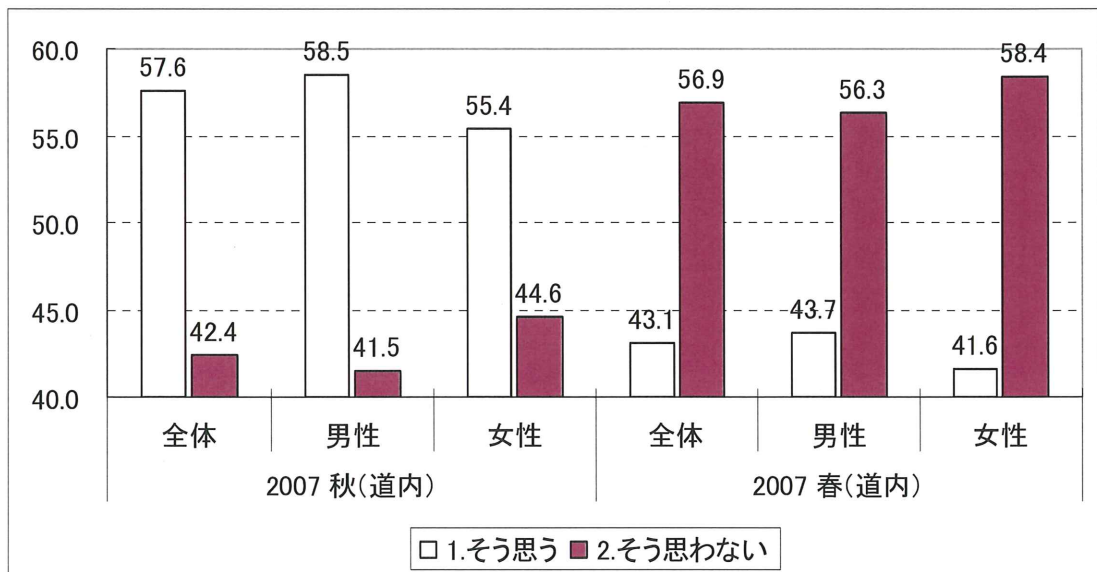


* その他の選択肢については上表では省略。

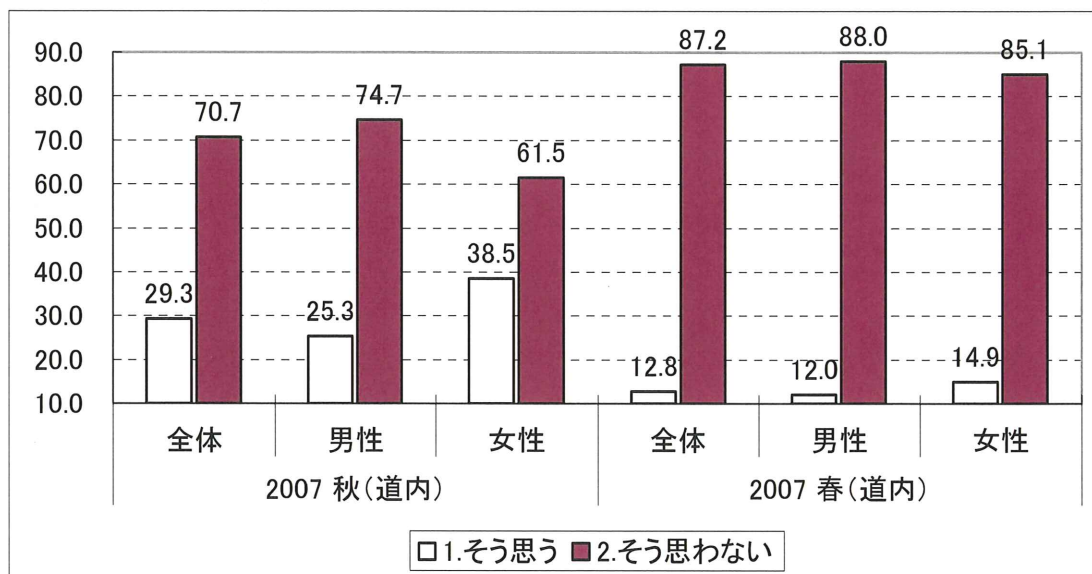
③自分のキャリアに反する仕事を我慢して続けることについて、「無意味だと思う」が秋 30.2%、春 19.7%、「そう思わない」が秋 69.8%、春 80.3%となり、男女とも「無意味だと思う」の割合が増加した。〈Q6(a)〉



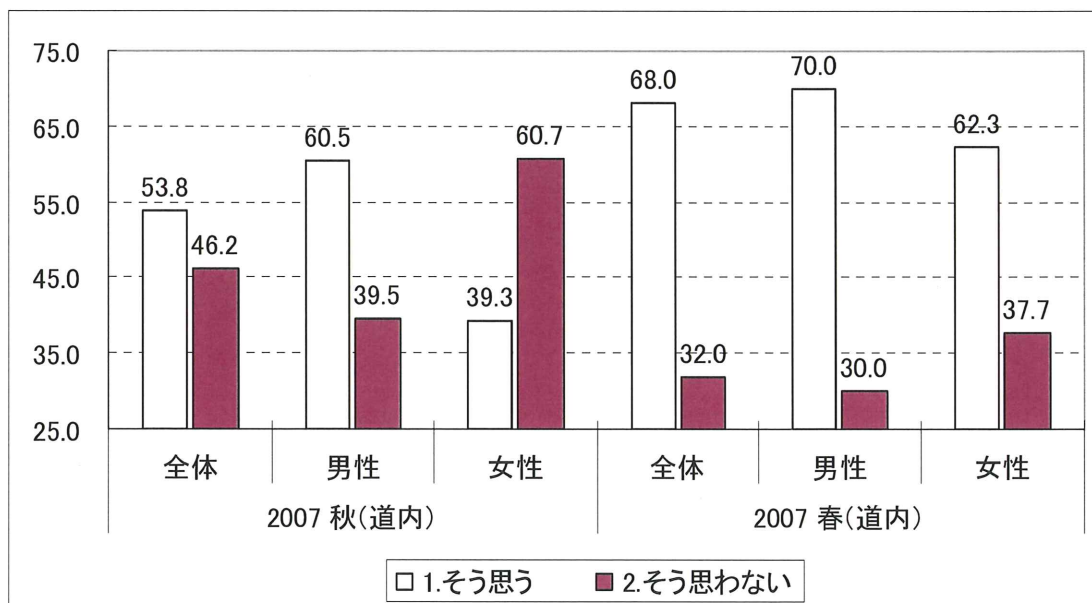
④結果をちゃんと出せる自信のある仕事について、「やり方に細かく注文をつけられたくない」が秋 57.6%、春 43.1%、「そう思わない」が秋 42.4%、春 56.9%となり、男女とも「やり方に細かく注文をつけられたくない」の割合が増加し、春の調査と比べて関係が逆転した。〈Q6(c)〉



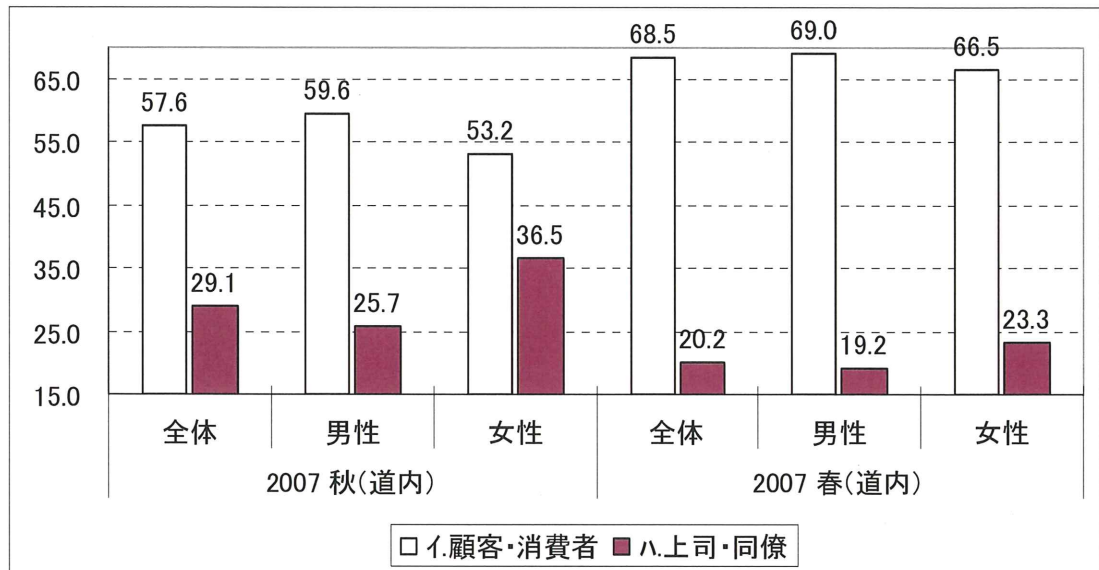
⑤会社の運動会などの親睦行事について、「参加したくない」が秋 29.3%、春 12.8%、「そう思わない」が秋 70.7%、春 87.2%となり、男女とも「参加したくない」傾向が強まった。〈Q6(f)〉



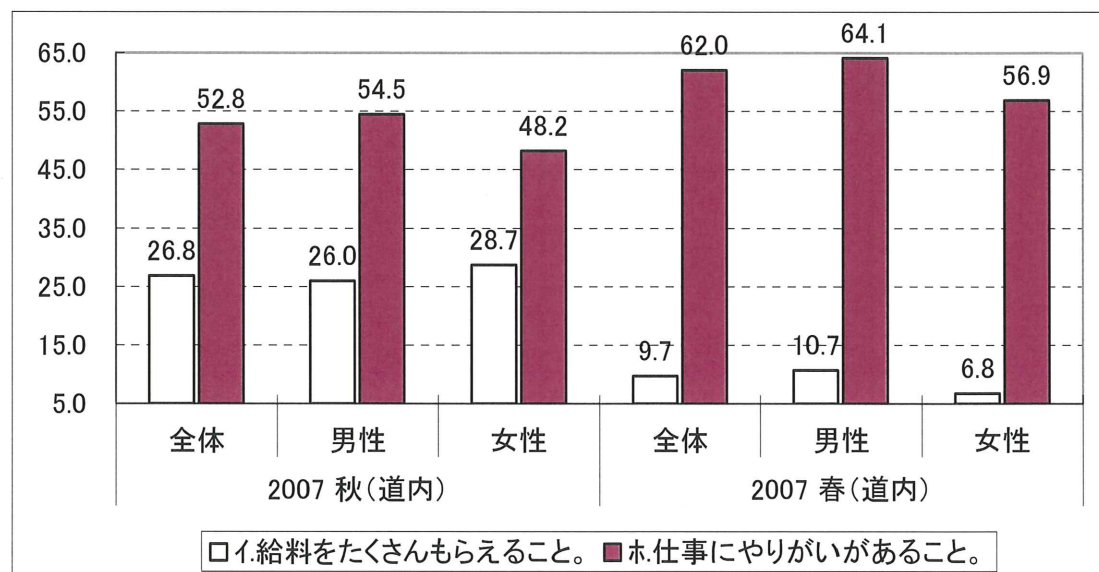
⑥自分には仕事を通じて、かなえたい「夢」があるについて、「夢がある」が秋 53.8%、春 68.0%、「そう思わない」が秋 46.2%、春 32.0%となり、「夢がある」とする割合が減少し、特に女性は男性より顕著となった。〈Q6(h)〉



⑦会社で仕事をする上で優先するものについて、「顧客・消費者」が秋 57.6%、春 68.5「上司・同僚」が秋 29.1%、春 20.2%となり、「上司・同僚」を優先する傾向が強まった。〈Q8〉

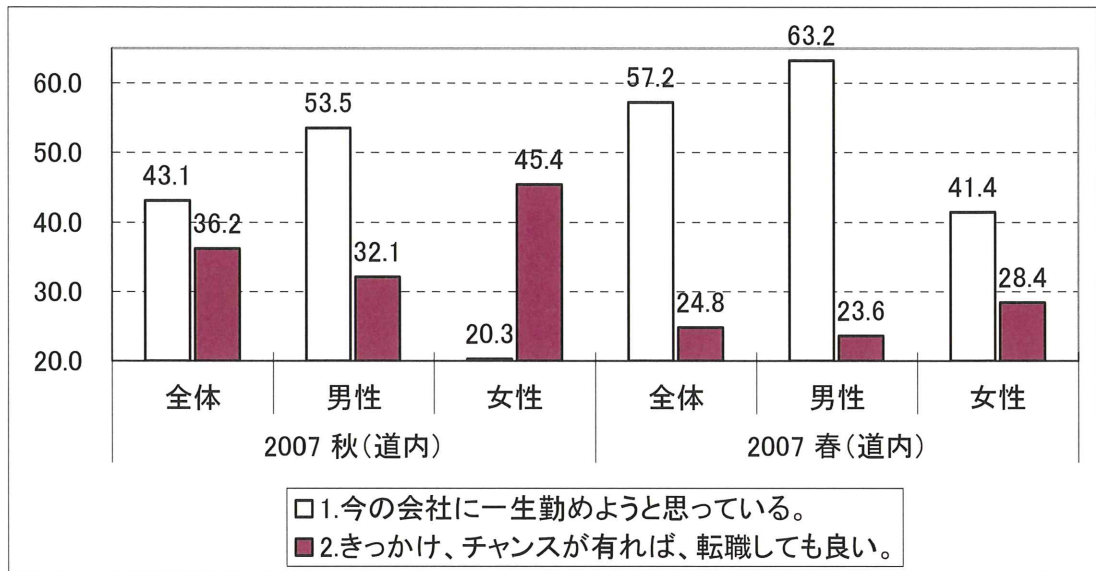


⑧これから転職するとした場合の転職先の会社は今の会社よりも何を優先するかについて、「給料をたくさんもらえる」が秋 26.8%、春 9.7%、「仕事にやりがいがある」が秋 52.8%、春 62.0%となり、男女ともやりがいより給料を優先する傾向が強まった。〈Q9(c)〉



* その他の選択肢については上表では省略。

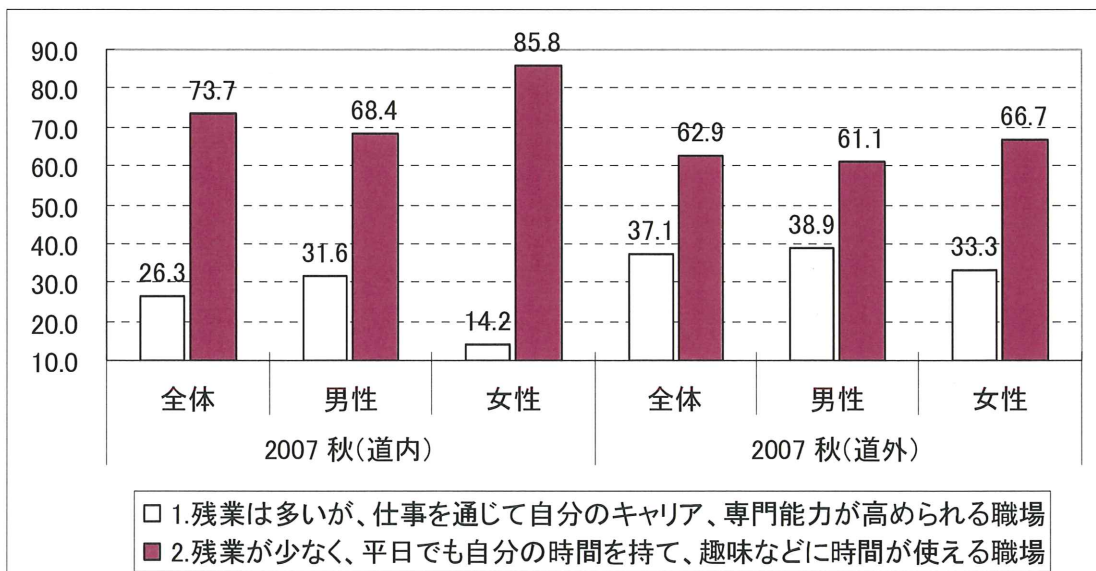
⑨転職について、「今の会社に一生勤める」が秋 43.1%、春 57.2%、「チャンスがあれば転職しても良い」が秋 36.2%、春 24.8%となり、転職に対して肯定的な傾向が強まった。〈Q9(d)〉



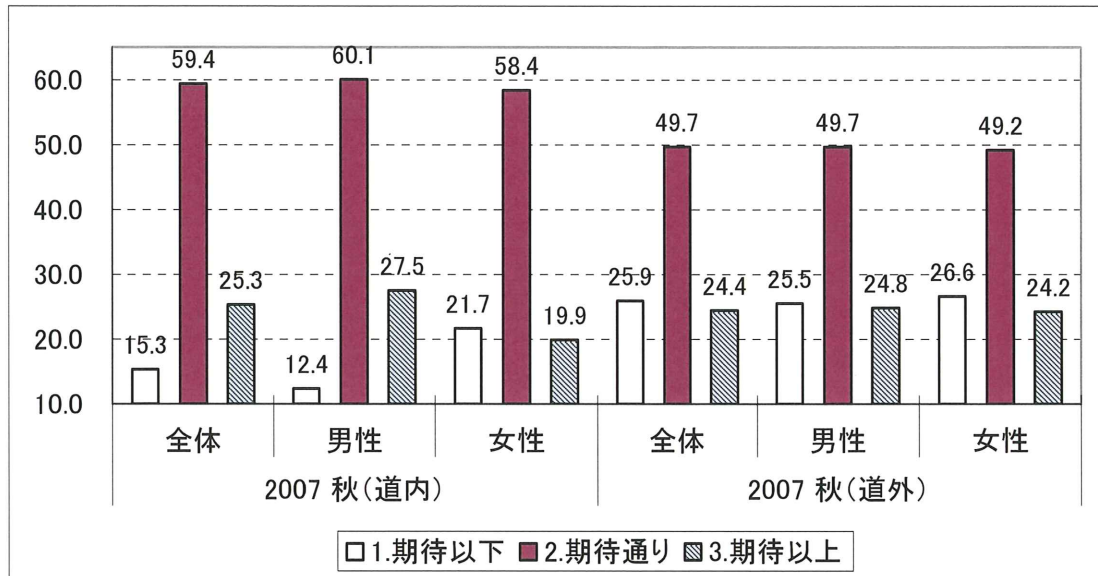
*その他の選択肢については上表では省略。

(2) 道外との意識の比較

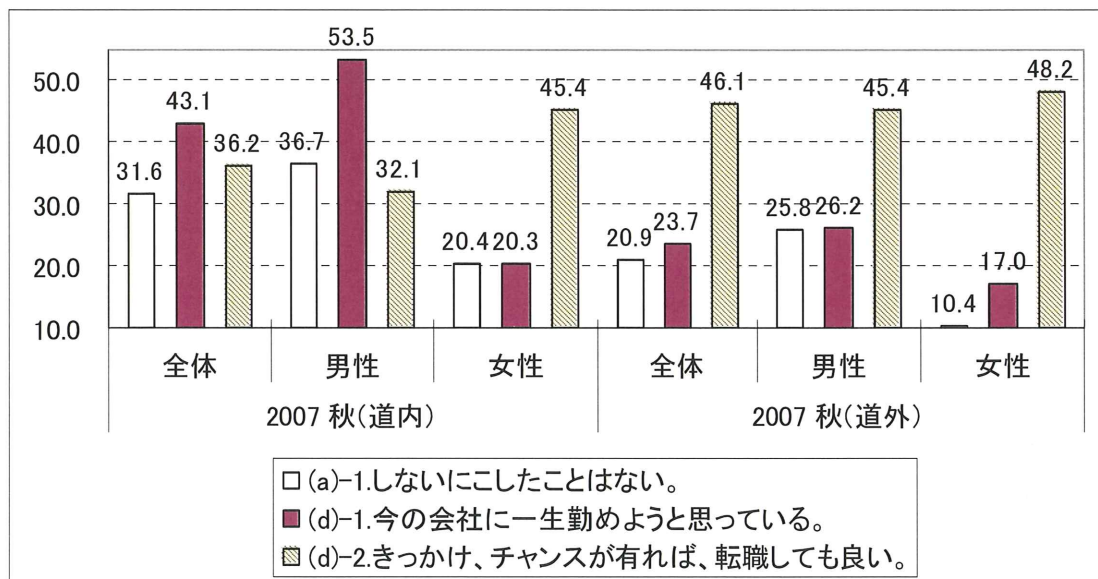
①残業について、「残業は多いが仕事を通じてキャリア、専門能力が高められる職場を好む」が道内 26.3%、道外 37.1%、「残業が少なく平日でも自分の時間を持って趣味などに時間が使える職場を好む」が道内 73.7%、道外 62.9%となり、男女とも道内の方が道外よりプライベートな時間を優先したい傾向が強い。〈Q5(d)〉



②入社前後のイメージ比較で上司・先輩の指導育成について、「期待以下」が道内 15.3%、道外 25.9%、「期待通り」が道内 59.4%、道外 49.7%、「期待以上」が道内 25.3%、道外 24.4%となり、道内は道外よりも「期待以下」とする割合が低い。〈Q7(6)〉



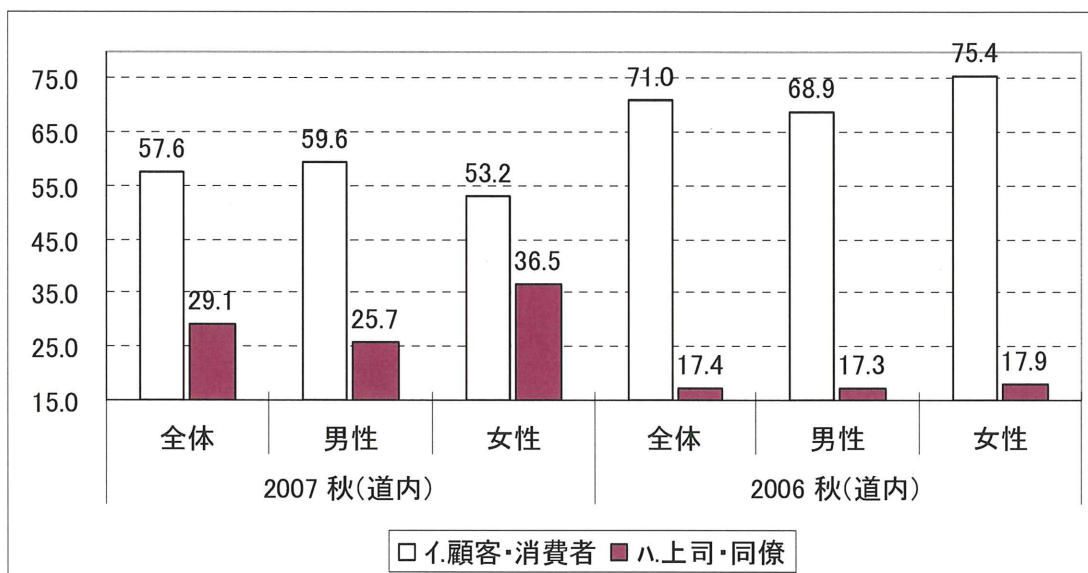
③転職について、「しないにこしたことはない」が道内 31.6%、道外 20.9%、また、「今の会社に一生勤めようと思っている」が道内 43.1%、道外 23.7%、「チャンスがあれば転職しても良い」が道内 36.2%、道外 46.1%となり、道内は道外よりも転職に対して否定的な傾向が強い。〈Q9(a).(d)〉



*その他の選択肢については上表では省略。

(3) 道内の昨年度（秋）との意識の比較

①会社で仕事をする上で優先するものについて、「顧客・消費者」が今年度（秋）57.6%、昨年度（秋）71.0%、「上司・同僚」が今年度（秋）29.1%、昨年度（秋）17.4%となり、「顧客・消費者」から「上司・同僚」を優先する傾向が強まった。〈Q8〉



*その他の選択肢については上表では省略。

【お問い合わせ先】北海道生産性本部（担当：澤田）

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター6階

TEL 011-241-8591 FAX 011-241-3898